

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	愛知県一宮市			代表者名	中野 正康
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部情報システム課	連絡先電話番号	0586-28-8670
担当者役職	主査	担当者氏名	山田 有里	連絡先E-mail	
住所	491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	ICTマネージャー向けグループワーク		
概要	若手管理職向けに、デジタル技術を活用した政策立案とその課題解決のグループワークを行い、その過程でアドバイザーからの専門的な助言、指摘を受けることで行政のDXを推進する。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成)				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
		無			
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月1日	講演(実地)	9時00分	12時00分	5
				活動時間(分)	175

  

2-2. 派遣場所	会場名	一宮市役所	最寄駅	尾張一宮駅
	所在地	愛知県一宮市本町2丁目5番6号	最寄駅からの交通手段	徒歩5分

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	鈴木 昌幸
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	一宮市の強みを活かした政策形成(グループワーク)で、データを活用するだけでなく、そこからどう深堀していくかの大切さが学べた点。 目標を達成しようとするとき起こる相反する課題をどう解決していくかの視点の持ち方を学べた点。
アドバイザーへの要望事項	

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	20人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	20			

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	職員全体にDXを推進する風土が十分に広がっているとは言えない状況である。業務の効率化、市民サービスの向上、課題解決のためには、デジタル技術、データを積極的に活用していかなければならないが、現状その環境は整っていない。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	管理職自らがデジタル技術を活用する視点を持ち情報収集や提案ができ、部下からの提案の有効性を判断できるようになることで、デジタル技術の導入を積極的に推進する風土を醸成し、時間や場所に制約を受けない手続きといったような市民サービスの利便性向上や、内部システムの効率化によってヒューマンリソースをデジタルデバインド解消に割くことを目標とする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	一宮市が掲げる総合戦略からグループテーマを決定し、他自治体と比べた時に見えてくる一宮市の特徴を捉え魅力発信を想定した資料作成と発表、質疑応答を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本研修は3回を通して実施するもので、3回目の研修後に受講者アンケートで具体的な内容を収集し回答します。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 一宮市の特徴(持ち家率の高さ、名古屋までのアクセスがいい。広い家に住める。/水道料金の安さ。安全な水。耐震化率、下水道普及の低さが問題/電子図書館の蔵書が比較的いい。普及方法を考える。)をまとめた資料。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	課題解決や、市民サービス向上の手段にどうデジタル技術を活用するのか。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 3回を通じた研修なので、3回目の研修後にアンケートを実施するため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 相乗効果やトレードオフ関係を考えながら、政策立案する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	具体的な政策立案をとおして、各課が抱える課題の解決、市民サービス向上を所属部署においても実施する。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

**なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子  
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

